

1. 基礎分野

基礎分野目標： 人間と社会を身近に見つめ、国際化・情報化へ対応できる基礎的能力を養い、自己の感性・人権に対する理解を深めると共に科学的思考力・コミュニケーション能力を養う。

科学的思考の基盤

科目名	生物学	教育内容	基礎分野 科学的思考の基盤
担当講師	内山 裕之	単位数 (時間)	1 単位 (15 時間) <1 年前期>
科目目標	生命誕生と生物としての人間の特性を知る。 設定理由 人間の生物学的特徴を理解し、解剖生理学との関連を深める。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1 2 3 4 5 6 7	生命体のつくりと働き、生命維持のエネルギー 遺伝子とその働き 恒常性と体液（体液と腎臓の構造）と神経系（神経） ホルモンによる調整、肝臓と腎臓の働き 自然免疫と獲得免疫 植生とバイオーム 生態系のバランスと人間の活動	講義
評価方法	1 回の筆記試験で評価する。		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 生物学 医学書院		

科目名	論理学	教育内容	基礎分野 科学的思考の基盤
担当講師	王琳琛	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <2 年後期>
科目目標	人間としての物の見方・考え方について学び、筋道を立てて考え、表現する力を養う。 設定理由 論理的思考を養うことにより、自己表現力を高め、他者の考えを理解できるようにする。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1 2 3 4・5 6 7 8 9・10 11 12 13・14 15	論理的思考力とは 論理的な読み方とは 論理的読解力を身につけるために 文章の読み解き演習 考え方を伝える／受け取る力 就職活動で伝えたい事の表現方法 要約を論理的に行う方法 伝えたい／書く／読む演習 状況設定問題を読み解く 分からない言葉の調べ方 関西看護学生研究大会参加（レポート課題あり）	講義 演習
評価方法	1 回の筆記レポート試験、時間内の提出物、学習発表などで評価する。		
教科書	随時資料配布		

科目名	情報科学	科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤
担当講師	垣東 弘一	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1 年通年>
科目目標	コンピュータとネットワークに関する基礎的な知識と技術を学び、情報倫理を理解した上で、看護情報学、看護研究をも視野に入れた看護情報の収集・処理・判断・発信のできる能力を養う。		
設定理由 コンピュータリテラシーの定着を図る情報教育を継続させ、看護の場で生かせるように素地を養い、情報の収集と整理、活用方法について学ぶ。			
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1	情報化社会とコンピュータ、文書作成基礎 1 (基本操作)	講義
	2	文書作成基本 2 (文字入力、文章入力、文書作成)	演習・講義
	3	文書作成基本 3 (ビジネス文書作成)	演習・講義
	4	文書作成応用 1 (図形とイラスト、ワードアート)	演習・講義
	5	文書作成応用 2 (SmartArt グラフィック)	演習・講義
	6	表計算基礎 1 (基本操作、データ入力、数式)	演習・講義
	7	表計算基礎 2 (関数 1 (SUM 関数など))	演習・講義
	8	表計算基礎 3 (関数 2 (IF 関数など))	演習・講義
	9	表計算応用 1 (統計とその関数)	演習・講義
	10	表計算応用 2 (データとグラフ)	演習・講義
	11	プレゼンテーション 1 (基本操作、スライド作成)	演習・講義
	12	プレゼンテーション 2 (スライドの視覚的効果)	演習・講義
	13	情報セキュリティと情報モラル	講義
	14	文書作成・表計算・プレゼンテーションの総合復習	演習・講義
	15	終講試験およびまとめ	各クラス
評価方法	1 回の筆記試験と PC 実技試験で評価する。		
教科書	医療従事者のための情報リテラシー 中村健壽 日経 BP 系統看護学講座 基礎分野 看護情報学 医学書院		

人間と生活・社会の理解

科目名	社会学	教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解
担当講師	王琳琛	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <1 年前期>
科目目標	社会学という立場から、社会生活の重要な側面や現代社会が抱える問題について考え、社会学の基本的観点について学習し、社会学的に考察する力を養う。		
設定理由 人間の社会的行為、社会問題、社会構造に対する社会的な見方を身につけ、文化社会、価値観の多様化を理解する。			
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1	社会学の基礎概念	講義
	2	社会学的視点とモデル	
	3	保健医療と社会学	
	4	社会調査の理論と技法	
	5	健康、病気、ストレスの新しい見方ととらえ方	
	6	健康、病気の社会格差	
	7	「働き方」「働かせ方」と健康、病気	
	8	健康、病気行動と病経験	
	9	患者 - 医療者関係とコミュニケーション	
	10	保健医療の専門職	
	11	性、ジェンダー、家族と保健医療	
	12	地域社会と保健医療	
	13	保健医療制度	
	14	保健医療の現代的变化の位相	
	15	ケアと医療：新しい地平を求めて	
評価方法	1 回の筆記試験で評価する。		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院		

科目名	教育学		教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解		
担当講師	廣岡 正昭		単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <2 年後期>		
科目目標	望ましい人間形成、人間の可能性を引き出す教育の意義、方法を理解し、生涯学習や看護実践に生かす。 設定理由 教育の本質と歴史的変遷をふまえ、望ましい人間形成、人間の可能性を引き出す教育の意義、方法を理解し、生涯学習や看護実践に生かす。					
科目構成	回数	科目内容		学習方法		
	1	社会の中の教育と看護 教育とは何か—「教育の概念」		講義		
	2	教育の対象—子ども観と発達				
	3	社会変動と教育、教育の組織化—学校				
	4	教授一人に教えるということ				
	5	訓育—他者とのかかわりを導く				
	6	養護—教育の受け手を見まもる				
	7	発達—教育を受けて成長する				
	8	学びの場—家庭と学校				
	9	教育の目標と評価				
	10	教育のメディア—教育をデザインする				
	11	キャリア教育（専門教育）、生涯教育				
	12	ジェンダーとセクシュアリティ				
	13	特別ニーズ教育、インクルーシブ教育				
	14	シティズンシップ教育、学習の振り返り				
評価方法	1回の筆記試験で評価する。					
教科書	系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院					

科目名	哲 学		教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解
担当講師	・岩崎 日出男 ・住職 ・シスター ・専門看護師		単位数 (時間)	1 単位 (15 時間) <3 年前期>
科目目標	思考力を養い、哲学的要素を身につけ、看護者としての広い視野と考察力を持つ。 設定理由 人間の存在価値を理解し、自己の振り返りを体験的に学ぶことで探求心を養う。			
科目構成	回数	科目内容		講師 学習方法
	1	人間と文化	岩崎	講義
	2	個人、家族、家族をこえたつながり	岩崎	
	3	人生と通過儀礼、健康と医療	岩崎	
	4	いのちと文化	岩崎	
	5	特別講義 仏教における哲学的思想	住職	講義
	6	特別講義 キリスト教における哲学的思想	シスター	講義
	7	特別講義 看護倫理	専門看護師	講義
評価方法	各講義の学びレポートにて評価する			
教科書	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院 よくわかる看護職の倫理綱領 照林社			

科目名	心理学	教育内容	基礎分野人間と生活・社会の理解
担当講師	小島 知子	単位数 (時間)	1 単位 (15 時間) <1 年前期>
科目目標	人間の心理や行動の基礎を学び、自己および他者理解について学ぶ。 設定理由人間の心理と行動について学び自己理解、他者理解の能力を養う。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1 2 3 4 5 6 7	心理学とは 感覚と知覚、記憶、思考、言語、知能 学習、感情と動機付け 性格とパーソナリティ 社会と集団、発達 心理臨床 医療・看護と心理	講義
評価方法	1 回の筆記試験で評価する。		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院		

科目名	人間関係論	教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解
担当講師	小島 知子	単位数 (時間)	1 単位 (30 時間) <2 年後期>
科目目標	人間関係の重要性と集団との関わりにおける個人のあり方について学ぶ。 設定理由医療者として複雑な人間関係を理解し、より深く自己や他者を洞察していく態度を養う。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13・14 15	人間関係の中の自己と他者 対人関係と役割、態度と対人関係 集団と個人、コミュニケーション カウンセリングと心理療法 コーチング、アサーティブコミュニケーション 保健医療チームの人間関係 患者を支える、家族を含めた人間関係 地域をつくる人間関係	講義
評価方法	1 回の筆記試験で評価する。		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 医学書院		

科目名	法と人権	教育内容	基礎分野人間と生活・社会の理解
担当講師	前島 良弘	単位数 (時間)	1 単位 (15 時間) <1 年後期>
科目目標	社会生活における法の作用や役割・人権について理解し、人権意識の重要性を学ぶ。 設定理由法律の基礎知識と人権の重要性を学びながら、社会人として成長してゆくための基礎的知識を身につける。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1 2 3 4 5 6 7	法学概論と憲法の意義 社会の変遷と法 市民生活、日常生活と法 国民の義務と基本的人権 憲法の基本原理 権利と義務、倫理について 看護者自身の人生と法律	講義
評価方法	1 回の筆記試験で評価する。		
教科書	看護学生のための法規と社会保障制度 ふくろう出版 随時資料配布		

科目名	外国語 I	教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解
担当講師	平松 さやか	単位数 (時間)	2単位 (60時間) <1年通年>
科目目標	病院というシチュエーションの中で、一般的に交わされる英会話・看護に関わる英語を学び、読解力・会話力を深める。 【設定理由】国際社会に対応しうる共通語として英語を学び、読解力、会話力を深め異文化にふれる機会とする。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
1 Introduction. 導入 /Unit1 前半			講義
2 Unit1. Is this your first visit to this hospital? :挨拶と窓口対応をしよう			
3 Unit2. What's the matter with you? :身体のどこに問題があるのか尋ねよう			
4 Unit 2 後半			
5 Unit 3. I'm going to take a blood sample:採血をしよう			
6 Unit 3. 後半			
7 Unit4. Let me explain our daily routine:入院生活の流れを説明しよう			
8 Unit4. 後半			
9 Unit5. I'm going to ask you about your lifestyle habits. 生活習慣や宗教上の制限			
10 Unit 5. 後半			
11 Unit6. Have you had any surgeries before? 病歴を確認しよう			
12 Unit6. 後半			
13 Unit7. Do you have any allergies? アレルギーの有無を確認しよう			
14 Unit7. 後半／単語テスト実施			
15 前期まとめ			
16 Unit8. How would you describe the pain? どのような痛みがあるか確認			講義
17 Unit8. 後半			
18 Unit9. How much can you move your leg?: 可動域を確認しよう			
19 Unit9. 後半			
20 Unit10. Let's start practicing getting into the wheelchair.:車椅子への移乗介助			
21 Unit10. 後半			
22 Unit11. Let's make the walks longer:補講トレーニングをしよう			
23 Unit11. 後半			
24 Unit12. You're from Australia, aren't you?患者さんと雑談をしよう			
25 Unit12. 後半			
26 Unit13. Are you Ms. Brown?家族の方とコミュニケーションをとろう			
27 Unit13. 後半			
28 Unit14. Rehabilitation can be challenging 落ち込む患者さんを励まそう			
29 Unit 15. By working together, we can ease your concerns 手術前で不安な患者さんへの励まし/ 単語テスト実施			
30 後期まとめ			
評価方法	外国語 I 前期後期試験の平均点で総合評価する。		
教科書	医療従事者のためのやさしい英語コミュニケーション、成美堂		

科目名	外国語Ⅱ	教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解
担当講師	プリティ・ロヘラ	単位数(時間)	1単位(15時間) <2年前期>
科目目標	地域で一般的に交わされる英会話を学び、読解力・会話力を深める。 設定理由国際社会に対応しうる共通語として英語を学び、国際社会に対応できる素地を養うとともに異文化にふれる機会とする。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1・2 3・4 5・6 7	Conversation in Class Getting Acquainted Conversation in Class Daily Life Conversation in Class Hometown Conclusion : Summary	講義 演習
評価方法	英語でダイアローグ（看護師と患者のロールプレイ）を行い評価する。		
教科書	Conversations in Class Third Edition(alma publishing)		

科目名	外国語Ⅲ	教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解
担当講師	プリティ・ロヘラ	単位数(時間)	1単位(15時間) <2年後期>
科目目標	地域や病院で一般的に交わされる英会話を学び、読解力・会話力を深める。 設定理由国際社会に対応しうる共通語として英語を学び、国際社会に対応できる素地を養うとともに異文化にふれる機会とする。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1・2 3・4 5・6 7	Conversation in Class Travel Conversation in Class Free Time Conversation in Class Entertainment Conclusion : Summary	講義 演習
評価方法	英語でダイアローグ（看護師と患者のロールプレイ）を行い評価する。		
教科書	Conversations in Class Third Edition(alma publishing)		

科目名	健康スポーツ科学	教育内容	基礎分野 人間と生活・社会の理解
担当講師	樋口 智弘	単位数(時間)	2単位(45時間) <1年前期>
科目目標	スポーツを通して体力を維持・増進させ健全な心身の発達を促し協調性と責任感を養う。 設定理由健康的なスポーツを理解し活動を通して仲間作り、リーダーシップ・メンバーシップの役割を遂行する機会とする。		
科目構成	回数	科目内容	学習方法
	1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13・14 15・16 17・18 19・20 21・22	オリエンテーション・レクリエーション 有酸素運動「エアロビクス」※以後毎回実施 3学年交流球大会 ニュースポーツ「アルティメット」 「ドッジボール」 「コグニサイズ」「アジャタ」「ソフトバレーボール」 「リンパ体操」「体幹トレーニング」 「バスケットボール」 「サッカー」 「卓球」 健康づくりのための運動処方 体力測定	講義・実技
評価方法	1回の筆記試験で評価する。		
教科書	随時資料配布		